

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日				令和7年 3月 6日	利用児童数	14人(保護者数12人)	回収数	12	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制整備	1	11	1	0	0	室内に子どもがいる状態で見ていないから密集度がわからない。	環境構成の配慮を引き続き行い、必要に応じて保護者に伝えていく。			
	2	11	1	0	0		適切な職員数を維持し、情報を分かりやすく伝えていく。			
	3	11	1	0	0		引き続き、構造化や視覚支援等環境を整えていく。			
	4	11	1	0	0		清潔な空間で安心して過ごすことができるよう、引き続き環境設定を行っていく。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	11	1	0	0	評価した内容を基にすぐに目標を立案してくれるため	引き続き、個々の発達状況や特性に応じた支援計画を作成し、支援を行っていく。			
	6	11	1	0	0		引き続き、ホームページやパンフレットで公表している支援プログラムを実施していく。			
	7	11	1	0	0		アセスメントを実施し、ニーズや課題の分析、個別支援計画の作成を行っていく。			
	8	11	1	0	0	カンファレンス内容がよく反映されていると思います。	放課後等サービスガイドラインに沿って、引き続き、個々の発達に応じた支援内容を設定していく。			
	9	12	0	0	0		引き続き、それぞれの支援計画に沿って丁寧に支援を行っていく。			
	10	11	1	0	0		個別支援計画を確認し、適切な活動が行えるようにしている。			
	11	5	1	1	5		コロナ感染防止のため、交流の機会が少なかったが、今後は感染状況を見ながら行事への参加等、機会を増やしていく。			
	12	12	0	0	0		今後も丁寧な説明を心掛けていく。			
	13	12	0	0	0		引き続き、個別支援計画を作成し丁寧に説明していく。			
	14	7	3	0	2	研修会はないが、個人面談の時に説明してくれる。	引き続き、面談時に情報の交換・提供を含めた家族支援を行っていく。			
	15	12	0	0	0		保護者へ毎日の療育の様子を連絡帳、写真で伝えていく。日々の活動の様子丁寧に伝え、共通理解を図っていく。			
保 護 者 へ の 説 明 等	16	12	0	0	0		面談や日々のやり取りを通じて、必要な情報を伝え、助言を行っていく。			
	17	12	0	0	0		日頃より連絡帳でのやりとり等を通じ、保護者の意向を療育に反映させていく。			
	18	4	2	3	3		コロナ感染防止のため、交流の機会が無かったが、保護者の意向を確認し、保護者同士の連携の場の提供やきょうだいの支援の機会を増やしていく。			
	19	11	1	0	0		相談等に対し、迅速、丁寧に対応できるよう心掛けていく。			
	20	11	1	0	0		子どもの障がい特性に応じて伝え方を工夫していく。			
	21	9	1	0	2		引き続き、InstagramやLINEなども活用し、子ども達の活動の様子が伝わるよう工夫する。			
	22	11	1	0	0		個人情報の取り扱いについて、十分な配慮を行っていく。			
	非 常 時 等 の 対 応	23	9	2	0	1		契約時の説明に加え、必要に応じてマニュアルを閲覧できるように対応を行っていき、定期的実施している避難訓練についても実施を行っていく。		
24		10	0	0	2		定期的避難訓練を実施し、訓練の様子を保護者へ伝えていく。			
25		11	1	0	0		日頃より、安全に療育が行えるよう環境整備を徹底し、面談等を通じて情報共有を行っていく。			
26		12	0	0	0		保護者に事故発生時の状況や対応、今後の対策について伝えていく。			
満 足 度	27	12	0	0	0	障りも支援が必要な子なので、長く関わったり怒られたりして落ち込むこともあるけれど、先生がフォローして下さるので安心してきています。	引き続き、安心して通所できるような環境整備を行っていく。			
	28	12	0	0	0		子どもたちが笑顔で楽しみながら療育活動へ参加できるよう配慮する。			
	29	11	1	0	0		引き続き、充実した支援となるよう心掛けていく。			